

温泉町湯中山 (2幼虫, 9. II. 1990), 温泉町扇ノ山 (4), 美方町久須部 (3幼虫, 23. II. 1990), 美方町大谷 (1幼虫, 21. I. 1989).

養父郡: 氷ノ山 (4), 関宮町鉢伏山 (2), 大屋町筏 (4), 大屋町若杉 (4).

朝来郡: 朝来町石田 (1幼虫, 21. III. 1990), 朝来町岩屋観音 (8), 和田山町糸井 (3), 生野町菖蒲沢 (1♂, 10. VI. 1975尾崎勇), 生野町黒川 (1幼虫, 24. III. 1985), 生野町栃原 (2幼虫, 4. I. 1987).

#### <参考文献>

- (1) 福田晴夫ほか (1983) 原色日本蝶類生態図鑑 (II) 保育社、大阪
- (2) 播磨蝶友会 (1977) ひろおび (2) :15
- (3) 木下賢司 (1979) 床尾山の蝶 IRATSUME (3) :29
- (4) 高橋 匡 (1979) 但馬地方昆虫目録 IRATSUME (3) :51
- (5) 広畑政巳・近藤伸一 (1982) 三田市周辺に於けるミスジチョウの分布について きべりはむし10 (2) :16
- (6) 広畑政巳・佐々木 薫 (1982) 兵庫県南西部に於けるミスジチョウの分布について ひろおび (6) :35~37
- (7) 広畑政巳・近藤伸一・徳岡正己 (1984) 東播磨に於けるミスジチョウの分布について てんとうむし (9) :59
- (8) 木下賢司・前平照雄・福井丈嗣 (1986) 但馬地域の蝶類目録 IRATSUME (10) :82

## 但馬地域のオオムラサキの新産地について

近 藤 伸 一

オオムラサキは、淡路島以外の県下の広い地域に分布し、その全容については広畑政巳 (1987) が発表されている。

この度、但馬地域の過去に採集記録のない場所で、本種の幼虫を採集しているので報告する。

〈採集記録〉

豊岡市下鉢山 (4幼虫, エノキより, 17・II・1990)

城崎郡香住町上計 (2幼虫, エノキより, 23・12・1989)

美方郡村岡町村岡銚子ガ谷 (1幼虫, エゾエノキより, 13・V・1988)、村岡町宮神 (2幼虫, エゾエノキより, 9・XII・1989)、美方町秋岡 (4幼虫, エノキより, 23・II・1990)、美方町神場 (4幼虫, エゾエノキより, 23・II・1990)、美方町新屋 (6幼虫, エゾエノキより, 23・II・1990)

〈参考文献〉

- (1) 広畑政巳 (1987) 兵庫県産蝶類分布資料 (4) 一タテハチョウ科シジミチョウ科11種の記録—てんとうむし (10) :14~15

## ヒゲナガサシガメ・ベニモンマキバサシガメ共に氷上郡山南町に産す

高橋 寿郎

○ ヒゲナガサシガメ *Endochus stalianus* Horváth は1926年福井玉夫博士が発表された“内地産食虫椿象図説”の中で(昆虫、2巻2号、P75—76)博士自身標本がないので“Horváth 及松村松年博士の記載によった”として産を本州、九州として記載された。

筆者はこの Horváth の原記載 (Termesz. Füzetek, Vol. III, 1879, P147) 並びに松村博士の記載文を見ていないのでこの福井博士の記載が一番古く知った文献である。

その後加藤正世博士は分類原色日本昆虫図鑑第5輯 (pl. 22, f. 1, 1933) にカラーで図説をされ分布を本州、四国(未記録)、九州、台湾(未記録)として椎、樫の如き植物の葉上に採集出来るが稀であるとされた。

1950年江崎悌三博士は日本昆虫図鑑 (p.252, f. 659) に図説され“本種は本州、四国及び九州の山地に産し潤葉樹上に棲息するも多くない”と記しておられる。それ以外どうも図説がされていない様で原色日本昆虫大図鑑 第3巻 (1965) にも出てこない。割合と全国的に見ても少い種のように思われる。

兵庫県下からは山本義丸氏が1954年(丹波地方、氷上郡、多紀郡) 1958年(氷上郡) にそれぞれ記